

平成26年度秋期 災害対策専門研修
マネジメントコース:エキスパートA

主担当: 研究員 菅野 拓

		10月14日(火)	10月15日(水)	10月16日(木)	10月17日(金)
09時30分～10時45分	1限		市民社会ワークショップ 立木 茂雄 人と防災未来センター客員研究員 (同志社大学社会学部 教授)	危機対応時の組織論(情報システム) 宇田川 真之 人と防災未来センター 研究主幹 ・災害発生前後の情報の収集・整理と共有化の重要性を理解し、情報システム(GISなど)の活用方を学ぶ	災害対応各論(被災者救護の実践的取り組み) 三上 晴由貴 全国知事会調査第二部(元新潟県防災局防災企画課防災企画班主任) ・災害救助法適用事例から災害救助法の理解を深める
11時00分～12時15分	2限	10:40～11:00 開講式 11:00～12:15 オリエンテーション 菅野 拓 人と防災未来センター研究員	山本 康史 ハローボランティア・ネットワークみえ代表 平野 昌 ハローボランティア・ネットワークみえ事務局 ・災害時の被災社会の対応において、ボランティアの果たす役割、市民の力の特徴と行政との関係のあり方について理解を深める	災害対応各論(災害時の物流対応) 興村 徹 (株)日通総合研究所取締役(教育コンサルティング部担当兼教育コンサルティング部長) ・災害直後から被災者の生活支援のための物流対応について、自治体担当部署のみならず民間運送会社などの能力も活用した実践的な事例を学ぶ	災害をもたらす自然現象の理解(津波) 奥村 与志弘 人と防災未来センターリサーチフェロー (京都大学大学院 地球環境学 資源循環学 地震災害リスク論分野/工学研究科都市社会工学専攻 地震ライフライン工学講座(兼務)助教) ・津波の発生メカニズムとそれによる物理的・社会的被害、今後の災害に備えた被害想定について学ぶ
13時15分～14時30分	3限	災害と男女共同参画 浅野 幸子 大学非常勤講師 早稲田大学「地域社会と危機管理研究所」招聘研究員 減災と男女共同参画 研修推進センター 共同代表 ・災害時における男女共同参画の視点をこれまでの事例を踏まえて理解を深める。	災害対応概論(初期期) 高田 洋介 人と防災未来センター研究員 ・初動対応時の対応と課題について理解を深める	災害対応演習(クマ演習) 渡邊 敬逸 人と防災未来センター研究員 ・危機発生時の具体的な課題をもとに、災害対応の考え方について学ぶ	自治体における災害対応の実際 小野 真一 仙台市青葉区理事兼宮城総合支所長(元仙台市若林区副区長) ・実際の災害対応における課題について学ぶ
14時45分～16時00分	4限	災害対応各論(医療活動) 甲斐 達朗 人と防災未来センター上級研究員 (済生会千里病院千里救命救急センター) ・災害現場の医療活動体制について理解を深める	災害対応概論(応急期) 古本 尚樹 人と防災未来センター主任研究員 ・応急対応期の対応と課題について理解を深める	災害対応各論(広域連携) 阪本 真由美 人と防災未来センターリサーチフェロー (名古屋大学 減災連携研究センター 特任准教授) ・災害時の被災自治体の対応において、広域連携のあり方について理解を深める	全体振りかえり ワークショップ 菅野 拓 人と防災未来センター研究員 ・災害対応に関わるワークショップを行い、研修で得た知識を実践に活かす方法を考える
16時15分～17時30分	5限	危機対応時の組織論(戦略的な広報について) 安富 信 人と防災未来センターリサーチフェロー (神戸学院大学 現代社会学部社会防災学科 教授) 川西 勝 人と防災未来センターリサーチフェロー (読売新聞大阪本社 編集委員) ・災害時の情報提供方法、報道機関対応の課題を学ぶ	災害対応概論(復旧・復興期) 中林 一樹 人と防災未来センター上級研究員 (明治大学 大学院政治経済学研究科 特任教授) ・復旧・復興期の対応と課題について学ぶ	危機対応各論(行政と自衛隊との連携) 越野 修三 岩手大学 地域防災研究センター教授 ・行政と自衛隊の連携について理解を深める	16:00～16:40 レポートタイム 16:40～16:55 閉講式
17時30分～17時45分	—	レポートタイム	レポートタイム	レポートタイム	

平成26年度秋期 災害対策専門研修 マネジメントコース:エキスパートB		主担当: 照本 清峰			
		10月21日(火)	10月22日(水)	10月23日(木)	10月24日(金)
09時30分～10時45分	1限		災害情報の受信手法 近藤 誠司 人と防災未来センターリサーチフェロー (関西大学社会安全学部助教) ・被害情報の受信(収集)と発信(広報)およびこれらを総合した情報共有のあり方について学ぶ	避難の実態と課題 宇田川 真之 人と防災未来センター研究主幹 ・災害種別ごとに異なる避難行動のタイミングと避難が困難な要援護者への対応について学ぶ	災害対応各論(NGO/NPO) 明城 徹也 ジャパン・プラットフォーム国内事業部長/東北事務所長 菅野 拓 人と防災未来センター研究員 ・NGO/NPOに対する理解を深め、災害支援における民間と行政の連携について学ぶ
11時00分～12時15分	2限	10:40～11:00 開講式 11:00～12:15 オリエンテーション 照本 清峰 人と防災未来センター研究主幹	業務継続計画論 紅谷 昇平 人と防災未来センターリサーチフェロー (神戸大学 社会科学系教育研究府特命准教授) ・各公共機関におけるBCPの意味と重要性について、また、その導入について、具体的な事例を交えて理解する	都市巨大災害論 河田 恵昭 人と防災未来センター長 ・事例を通じて災害による被害過程の全体像について理解する	防災・減災の普及啓発 加太 竜一 三重県防災対策部防災企画・地域支援課長 上田 知史 海南市総務部危機管理課防災対策係長 先進自治体の地域に向けての防災・減災活動について学び、地域への発信についての示唆を得る
13時15分～14時30分	3限	ゲーミング手法を活用した防災・減災ワークショップ 矢守 克也 人と防災未来センター上級研究員・震災資料研究主幹(京都大学防災研究所教授)	災害時の健康危機管理 高田 洋介 人と防災未来センター研究員 ・被災住民の健康危機に対する行政の支援について理解を深める	災害時の交通対応策 中川 大 人と防災未来センター上級研究員 (京都大学大学院工学研究科 教授/交通政策研究ユニット長) ・災害時の交通現象とその問題点。およびそれを踏まえた対応方策。	標準的な災害対応システム論 井ノ口 宗成 新潟大学災害・復興科学研究所助教 ・災害対応における標準的業務手順や対応手法について学ぶ
14時45分～16時00分	4限	・阪神・淡路大震災の事例を踏まえつつ、災害時の対応イメージを豊かにすることの重要性とその方法について、ゲーミング手法を活用して学ぶ	災害対策本部の空間構成設計演習 元谷 豊 株式会社サイエンスクラフト首席コンサルタント ・災害対策本部のレイアウトの重要性、また適切なレイアウトについて、演習を交えて理解する	災害時のこころのケア 大澤 智子 兵庫県こころのケアセンター 研究主幹 ・災害発生初期期の被災者に対する接し方及び災害対応業務を行う上でのマインドケアについて	全体振りかえりワークショップ 照本 清峰 人と防災未来センター研究主幹 ・災害対応に関わるワークショップを行い、研修で得た知識を実践に活かす方法を考える
16時15分～17時30分	5限	災害の対応事例と教訓 齋藤 富雄 兵庫県国際交流協会理事長 (元兵庫県防災監) ・災害事例をもとに、災害対応の課題と対応方法の考え方について理解を深める ・事例をもとに意見交換を行い、災害対応のあり方について理解を深める		被害認定業務 堀江 啓 人と防災未来センターリサーチフェロー (株)インターリスク総研総合企画部リスク計量評価チーム長 ・被害認定の種類、また被災者への支援にとって重要な罹災証明書発行業務の実務について	16:00～16:40 レポートタイム 16:40～16:55 閉講式
17時30分～17時45分	—	レポートタイム	レポートタイム	レポートタイム	

平成26年度秋期 災害対策専門研修
アドバンスト／防災監・危機管理監コース

主担当：研究主幹 近藤 伸也

10月30日(木)	10月31日(金)
9:30～10:30 (センター展示見学:希望者のみ)	4. (9:30～11:00)90分 「行政対応特論②」 佐藤 健一 アジア航測株式会社 技師長(元 気仙沼市危機管理監) 市町村における災害時の危機管理監の役割と状況判断の思考過程を学ぶ。
(10:35～10:50) 開講式 (10:50～11:00) オリエンテーション 近藤 伸也 人と防災未来センター 研究主幹	
1. (11:00～12:30)90分 「危機対応組織論」 河田 恵昭 人と防災未来センター センター長 危機対応をする上で首長を補佐する職にある人が必要とする能力について理解する。	5. (11:15～12:30)75分 「災害対応特論」 室崎 益輝 (公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構 副理事長 災害の状況に応じて既存法制度の限界部分、対応策についての指示、判断ができるようになるための考えを深める。講義は討論形式で行う。
昼休み	
2. (13:30～15:45)135分(途中休憩あり) 「目標管理型災害対応の考え方に基づいた災害対策本部運営」 近藤 伸也 人と防災未来センター 研究主幹 受講者の災害対策本部運営の改善に向けた取り組みを共有するとともに、目標管理型災害対応の考え方やその具体的内容について、過去の災害事例を踏まえ理解する。	6. (13:30～16:00)150分(途中休憩あり) 「災害対応検討ワークショップ」 演習を通じて目標管理型災害対応の考え方を身につける。 室崎 益輝 (公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構 副理事長 近藤 伸也 人と防災未来センター 研究主幹
3. (16:00～17:30)90分 「行政対応特論①」 齋藤 富雄 (公財)兵庫県国際交流協会理事長(元 兵庫県防災監) 大規模災害時の対応事例を知り、災害発生後の対応課題と首長に助言すべき内容を学ぶ。	(16:00～16:15) レポートタイム (16:15～16:30) 閉講式
(17:30～17:45) レポートタイム	

※内容や時間帯については変更の可能性があります。